



2023年 11月 18(土)

弘法山（秦野駅→鶴巻温泉）

Report By Kumamoto

夏から一気に冬の気配が飛んできた11月18日（土）に、富士山の景観と紅葉を目的に低山をノンビリ歩こうと、秦野駅から鶴巻温泉までを歩く弘法山ハイクを企画した。クマさん会で4回目のトライである。参加者は能勢夫妻、高橋文さん、吉松さん、池戸さん、熊本の6名。



行程は、秦野駅 9:00 に集合で、駅から数分にある名水「弘法の清水」に寄り、川沿いを歩き 20 分ほどで弘法山公園入口に着く。ここから登山道に入り、浅間山、権現山を經由し弘法山で昼食を取り、ここからは下りで、善波峠から吾妻山を最後に、鶴巻温泉「弘法の里湯」で入浴休憩して帰路に就く。全長 7.5 km で、標高差 200m 弱のコースである。



小田急線で海老名から秦野に向かう車窓には大山の雄姿が常に見える。
今日は快晴の空に、更に雄大に見えた。

秦野駅に 8:35 に到着したら、既に、池戸さんが改札口で待っていた。5 分程経った時、今日の参加メンバーにない高橋雄さんが、「ヤアー」と声を掛けながらやってきた。今日は一人で、「大山」に登るという。



「では、気をつけて！」と雄さんを送り出す。

8:50 に全員 6 名が揃った。南口の隅から富士山が見えると案内し、そのまま南口の階段を降りスタートした。しかし、何か周囲の様子が違う。振り返ると線路の反対側に権現山の展望台が見え、南口に下りたのが間違いと気づき、皆に謝り、折り返して北口に向かう。雄さんが丁度バスに乗るところだった。「雄さんー！」と皆で叫んだが聞こえなかったようだ。



川沿いを数分歩くと、「弘法の清水」の矢印が出てきて、チョット寄ってみる。
清水は余り冷たくなく、柔らかな口当たりだった。



川沿いの道に戻り、次の信号で河原に下りて芝生を歩く。綺麗な川水にカルガモが 10 数羽浮いていた。



河原で振り返れば、屋根越しに富士山が見えたが山頂は雲の中だった。次の信号で一般道を左折



数分歩き信号を渡ると、「弘法山公園入口」の標識が出てきてここで今回初めての集合写真。今日のパーティーを紹介する。左から池戸さん、高橋文さん、吉松さん、能勢夫妻とマスクマンの熊本の6名である。ここからは山道に入るので装備を整えて出発する。9:25



9:33 いよいよ登山道に取り掛かると、いきなり急登の連続だ。



急登を15分程で登り終わると・・・9:50



最初のピーク 196m の浅間山山頂で、富士山の眺望が良い。残念ながら山頂に雲がかかっている。



ここで最初の休憩をとり、次の権現山に向かう。10:00





10:20 展望台のある権現山山頂（244m）に到着。ここも富士山が良く見えるのだが、先ほどよりも雲が七合目まで降りてきている。残念だが今日はこれが限界か？



真っ赤な実をつけたピラカンサ



何故か？この時期にツツジ



ここから弘法山まで 0.8Km



権現山で2回目の休憩を取り、10:25 弘法山に向って下りに入ると、道幅は広くなり「馬場道」とあった。紅葉している木はあるが、鮮やかさがなく、真っ赤になる前に枯れているようだ。これも温暖化？



馬場道の無人販売で、クルミ、ギンナン、ミカン、ゆず等を置いてあったが、安くなく買うのは止めた。既に、登山口に入る前に3個¥100の柿を仕入れておりザックが重い。

権現山から弘法山に向かう馬場道で出会った花は下記の通り





10:35 権現山から下り切り、鞍部に弘法山の石碑がありこれが登山口らしい。
ここから弘法山への登りになる。



10:45 弘法山山頂に到着。山頂には鐘撞堂と弘法大師を祀った大師堂があった。



弘法山山頂で昼食予定であったが、山頂は風が強く、まだ11時でもあり、下って適当な処で取ろうと皆の意見が一致し、記念の写真を撮って11:05に下山開始した。善波峠分岐まで1Km、吾妻山まで2.5Km、弘法の里湯まで4Kmと距離は長いが基本的に下りが続く。



幼稚園・小学校の合同遠足に出会う。幼稚園児は半袖Tシャツ、先生も半袖のポロシャツで元気湧刺。それに比べクマさん会は厚手の長袖重ね着だ。ウラヤマシー！
こんな街中に近い低山で「熊出没に要注意！」の看板。コワイネー！



弘法山から約50分下り、前方に東屋が見えてきた
ここが最後のピーク吾妻山(145m)だ。
幸にも東屋は空いていて、我々の昼食場所となった。



12時丁度に食事となり、能勢さん持参の赤ワインで乾杯！
奥様の手作り惣菜も美味しく頂きました。



時間をかけユツタリとお腹を満たした後、記念写真を撮り、12:25 弘法の里湯に向った。



弘法の里湯には 12:55 に到着した。 今迄、こんなに早い時間に訪れたことはなく、かなり空いており、受付もスムーズで、個室も確保できた。



入浴後、生ビールで乾杯し、後は日本酒、焼酎を飲みながら、今日の成果を語り、次の低山クラブの企画等で盛り上がり、あっという間に2時間が過ぎ、お開きとなった。



我々が帰るころには登山客の入館手続きで長蛇の列になっていた。

15:00 弘法の里湯を後に鶴巻温泉駅に向かって帰路についた。

今後も、登り2時間、下り1.5時間以下をめどに低山を探し計画したい。